


所属部門	地域・文化	専門分野 英語学, 日本語学, 認知言語学, コーパス言語学 キーワード 文法, 語法, 認知モード 所属学協会・研究会 日本英語学会, 日本言語学会, 日本英語表現学会, 日本認知言語学会, 日本語用論学会, 関西言語学会, 大阪大学英文学会, 金沢大学英文学会
研究分野	英語全般	
 森 貞 教授 一般科目教室(人文社会科学系) 英語学 mori@fukui-nct.ac.jp		

研究テーマ

【日英語の認知モードの違いに着目した英語教育教授法の研究】

認知言語学的観点を生かした辞書・教材開発（例：ベネッセ「E-Gate English-Japanese Dictionary」、アルク「文法マラソン」等）は近年注目を集めているところであるが、本研究では、特に、日英語間の「認知モード」の違い〔Iモード認知・Dモード認知〕に着目して、英語教育教授法に関する基礎的研究を行い、最終的には、その教授法を実際の教育現場で具現化するための英語教育教材を開発することを研究目的としています。

【コーパス検索とアンケートを併用した日英語における非文法的表現の出現に関する研究】

非文法的表現及び研究者間で容認性判断に揺れが見られる表現の出現に関して、大規模データベース検索とアンケートを併用してその実態を明らかにし、認知語用論的観点・語用論的観点から、出現メカニズムを解明します。

【日英語の談話における主節表現の機能と創発メカニズムの解明】

NR (NEG-Raising) 述語及び ENR (Extended NEG-Raising) 述語を含む主節表現およびその日本語相当表現が、談話において、どのような機能を果たしているかを大規模データベース（文字データ・音声データ）の分析を通して明らかにするとともに、その創発メカニズムを解明します。

産官学連携や地域貢献の実績と提案

- ・2012年度福井県大学連携リーグ講座（テーマ：イギリス文学・文化を味わう）講師
- ・福井県内の旧所・名跡の英文パンフレットの作成支援
- ・福井県内の小・中学校の英語クラブ運営に関わる助言
- ・日英語の認知モードの違いに着目した英語教授法に関する講演会